

広告 暮らしの中で気をつけること疑問に思うこと教えます！

教えてドクター



医療法人 藻友会
いしやま形成外科クリニック

石山 誠一郎 院長
日本形成外科学会認定形成外科専門医。北海道大学形成外科客員臨床講師

老け顔になる さまざまの原因

コロナ禍で長期間のマスク生活を強いられたため、自身の顔貌変化に気が付かず、マスク着用が緩和された現在、「マスクを外した顔を見ると老けた気がする」と驚かれて来院される方が増えています。

シミ、シワのほかにも、老人性のイボや大きく盛り上がったほくろ、加齢に伴うまぶたのたるみも老け顔の原因となります。これらの症状は形成外科的治療により改善が期待できます。

【シミ、シワ】既に時間が経過した濃いシミに対しては、レーザー治療が効果を発揮します。薄いもやもやしたシミには、ハイドロキノンやトレチノインの外用、トラネキサム酸、ビタミンCの内服治療が必要です。目尻や眉間にシワにはボトックス注射が適応となり、シワの改善や予防に高い治療効果が得られます。

【老人性のイボ、ほくろ】頬や

老け顔(老人様顔貌)——形成外科医にできること

こめかみのシミが徐々に盛り上がり、かゆみが生じる老人性のイボは、「脂漏性角化症」という皮膚の良性腫瘍の一つです。炭酸ガスレーザーを用いて蒸散させることで取り除けます。大きく盛り上がったほくろも「色素性母斑」という良性腫瘍です。ほくろの除去は、直径2ミリ以下で皮膚の比較的浅い場所にあるものは炭酸ガスレーザーによる蒸散が適しており、腫瘍が盛り上がり、皮膚の深い場所にあるものは手術による切除縫合が必要になります。

まぶたが下がる 「眼瞼下垂」

【まぶたのたるみ】まぶたが垂れ下がり、目が十分に開きにくいためのことを「眼瞼下垂」といいます。パソコンやスマートフォンの長期間使用、アトピー性皮膚炎や花粉症の影響、白内障の手術後などさまざまな原因で発症します。

まぶたのたるみを改善する方法は、吊り上げる筋肉を瞼板の正しい位置に再固定する術式などがあります。

私たち形成外科医は機能的な面のみならず、整容面も十分に考慮しながら手術を行います。老け顔が気になる方は、年齢のせいだとあきらめず、ぜひお近くの形成外科へご相談ください。